



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月13日

上場会社名 デリカフーズホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3392 URL <https://www.delica.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大崎 善保
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 仲山 紺之 TEL 03-3858-1037
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	43,504	10.6	175	△76.0	232	△71.3	125	△80.2
2024年3月期第3四半期	39,325	10.2	730	62.1	807	57.5	633	37.0

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 61百万円(△91.9%) 2024年3月期第3四半期 766百万円(58.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	7.67	—
2024年3月期第3四半期	38.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	29,022	8,642	29.8
2024年3月期	28,848	8,750	30.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 8,642百万円 2024年3月期 8,750百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	6.0	600	△47.1	700	△44.4	430	△57.6	26.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 社(社名) 、除外 1社(社名) 株式会社メディカル青果物研究所

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	16,372,000株	2024年3月期	16,372,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	48,605株	2024年3月期	89,094株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	16,304,255株	2024年3月期3Q	16,278,120株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 有(任意)
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書	10
その他	12
(1) 最近における四半期毎の業績推移	12
(2) 部門別売上高の状況	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は所得・雇用環境の改善などを背景に社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復傾向を続けました。その一方で、ウクライナ情勢の長期化や米国における新政権の誕生など地政学的リスクの高まりに加え、物価高や円安基調の継続、金融資本市場の変動の影響、個人消費の伸び悩みなど、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループの主要顧客である外食産業においては、好調なインバウンド消費の寄与もあって需要は堅調な推移を続けていますが、慢性的な人手不足による人件費の上昇、原材料価格の高騰、物流費の高止まり、物価高に起因する消費者の節約志向が継続するなど、経営環境は依然厳しい状況が続いています。

こうした中、当社は、「青果物加工流通分野」において野菜の価値を追求し、未来に向けた「持続可能な農業」と「食を通じた健康増進」を実現する付加価値創造企業として、数々の施策を重ねております。2024年5月には「第五次中期経営計画 keep on trying 2027」を発表し、「各種ポートフォリオの変革」「青果物サプライチェーンの構造変革」「研究部門・開発部門への投資拡大」の基本方針の下、数々の具体的な施策展開を推進しているところです。

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは外食産業における売上回復基調や省力化ニーズの高まりを捉えることで、引き続き着実に売上を伸ばしました。主業である青果物流通事業を担うデリカフーズ(株)において、継続的に取引業種バランスの最適化を図りながら、新たなお取引先様ニーズへの積極的な対応を進めた他、消費者向けミールキットを手掛ける楽彩(株)を中心に、BtoC事業の拡充も推し進めました。また、物流子会社であるエフエスロジスティクス(株)も、「物流業界の2024年問題」をチャンスととらえ、新規開拓によるグループ外売上への拡大に努めました。以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、第3四半期累計としては過去最高の43,504百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

一方、損益面では、正社員・パート従業員の処遇見直し、商品開発や研究開発への積極的且つ継続的な投資等に伴う経費増が先行的に発生する中、2024年4月に稼働を開始した大阪FSセンターの立ち上げにかかる一過性の諸経費が発生したこと、当期を通じて天候不順（春先の長雨、夏場の猛暑、秋以降の少雨等）の影響で各種野菜の生育不良・品質不良が発生し、輸入商材を含め、過去に例を見ないレベルで急激に、また長期にわたり仕入価格が高騰したことが収益悪化要因となりました。以上の結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益は175百万円（前年同期比76.0%減）、経常利益は232百万円（前年同期比71.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は125百万円（前年同期比80.2%減）と、第2四半期累計における赤字から黒字には転じたものの大幅な減益となりました。

当社としては、仕入・在庫の厳格管理、廃棄ロスの削減、人員配置・物流の最適化などの現場オペレーションの効率化を一層図ることに加え、お取引先様への丁寧な説明を実施した上での売価改善など売上高収益体質の強化を図ると同時に、戦略投資も前倒しで進めながら、未来に向けた収益源の獲得に努めてまいります。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.8%増加し、13,110百万円となりました。これは、主として流動資産の「その他」が1,159百万円減少した一方、現金及び預金が623百万円、売掛金が831百万円、商品及び製品が204百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.6%減少し、15,911百万円となりました。これは、主として建物及び構築物が320百万円減少したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.6%増加し、29,022百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて10.8%増加し、10,799百万円となりました。これは、主として買掛金が755百万円、未払金が367百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7.5%減少し、9,579百万円となりました。これは、主として長期借入金が700百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.4%増加し、20,379百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.2%減少し、8,642百万円となりました。これは、主として利益剰余金が70百万円、その他有価証券評価差額金が72百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを検討した結果、現時点におきまして2024年10月11日発表の業績予想に変更はありません。

なお、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,248,578	4,872,236
売掛金	6,260,578	7,092,188
商品及び製品	271,433	475,626
仕掛品	15,148	11,653
原材料及び貯蔵品	154,390	258,242
その他	1,570,656	411,272
貸倒引当金	△10,571	△10,407
流動資産合計	12,510,214	13,110,812
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,185,802	7,864,989
土地	3,914,760	3,914,760
その他（純額）	2,764,240	2,751,862
有形固定資産合計	14,864,803	14,531,612
無形固定資産		
その他	60,853	64,760
無形固定資産合計	60,853	64,760
投資その他の資産		
その他	1,414,183	1,316,822
貸倒引当金	△1,667	△1,667
投資その他の資産合計	1,412,516	1,315,154
固定資産合計	16,338,173	15,911,527
資産合計	28,848,387	29,022,340

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,826,404	3,582,114
短期借入金	2,200,000	2,200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,973,774	2,006,222
未払法人税等	167,405	49,564
未払金	2,026,548	2,393,952
賞与引当金	153,605	38,111
役員賞与引当金	27,059	—
その他	371,691	529,981
流動負債合計	9,746,488	10,799,947
固定負債		
長期借入金	9,232,933	8,532,764
退職給付に係る負債	219,567	241,015
資産除去債務	535,864	539,888
その他	362,675	265,968
固定負債合計	10,351,040	9,579,636
負債合計	20,097,528	20,379,583
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,772,363	1,772,363
資本剰余金	2,573,208	2,588,508
利益剰余金	4,107,540	4,037,226
自己株式	△20,321	△10,174
株主資本合計	8,432,790	8,387,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	330,366	257,907
退職給付に係る調整累計額	△12,297	△3,074
その他の包括利益累計額合計	318,068	254,832
純資産合計	8,750,858	8,642,757
負債純資産合計	28,848,387	29,022,340

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	39,325,854	43,504,677
売上原価	29,652,635	33,224,328
売上総利益	9,673,219	10,280,349
販売費及び一般管理費	8,943,158	10,105,016
営業利益	730,060	175,332
営業外収益		
受取利息	1,501	2,012
受取配当金	3,959	4,587
物品売却益	25,674	22,150
受取賃貸料	40,744	42,449
助成金収入	6,923	19,048
その他	32,460	38,939
営業外収益合計	111,263	129,187
営業外費用		
支払利息	31,208	56,697
その他	2,662	15,798
営業外費用合計	33,870	72,495
経常利益	807,454	232,024
特別利益		
固定資産売却益	—	1,999
投資有価証券売却益	5,667	—
受取保険金	33	—
その他	59	—
特別利益合計	5,761	1,999
特別損失		
固定資産売却損	—	7,399
固定資産除却損	2,231	3,365
投資有価証券売却損	5,223	—
解約違約金	—	12,000
特別損失合計	7,455	22,765
税金等調整前四半期純利益	805,760	211,258
法人税等	172,644	86,177
四半期純利益	633,116	125,081
親会社株主に帰属する四半期純利益	633,116	125,081

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	633,116	125,081
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	135,435	△72,459
退職給付に係る調整額	△1,815	9,223
その他の包括利益合計	133,620	△63,235
四半期包括利益	766,736	61,845
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	766,736	61,845
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	青果物事業	物流事業	研究開発・ 分析事業	持株会社	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	38,810,172	456,011	59,670	—	39,325,854	—	39,325,854
外部顧客への売上高	38,810,172	456,011	59,670	—	39,325,854	—	39,325,854
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,330	2,696,765	14,600	634,559	3,354,254	△3,354,254	—
計	38,818,503	3,152,776	74,270	634,559	42,680,109	△3,354,254	39,325,854
セグメント利益	751,759	52,570	2,825	131,274	938,430	△130,976	807,454

(注) 1 セグメント利益の調整額△130,976千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	青果物事業	物流事業	研究開発・ 分析事業	持株会社	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	42,847,343	599,178	58,156	—	43,504,677	—	43,504,677
外部顧客への売上高	42,847,343	599,178	58,156	—	43,504,677	—	43,504,677
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,838	3,037,677	6,729	692,622	3,746,867	△3,746,867	—
計	42,857,181	3,636,855	64,885	692,622	47,251,545	△3,746,867	43,504,677
セグメント利益	199,260	108,756	6,964	112,436	427,418	△195,394	232,024

(注) 1 セグメント利益の調整額△195,394千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	745,817 千円	872,349 千円

独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書

2025年2月13日

デリカフーズホールディングス株式会社
取締役会 御中

南青山監査法人
東京都港区

代表社員
業務執行社員 公認会計士 桂川 修一

代表社員
業務執行社員 公認会計士 原田 辰也

監査人の結論

当監査法人は、四半期決算短信の「添付資料」に掲げられているデリカフーズホールディングス株式会社の2024年4月1日から2025年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2024年10月1日から2024年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2024年4月1日から2024年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して四半期連結財務諸表を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の期中レビュー手続を実施する。期中レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の期中レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1 上記の期中レビュー報告書の原本は当社(四半期決算短信提出会社)が別途保管しております。
2 XBRLデータ及びHTMLデータは期中レビューの対象には含まれていません。

その他

(1) 最近における四半期毎の業績推移

2025年3月期(連結)

(単位:千円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	13,606,629	14,449,416	15,448,631	
営業利益又は損失(△)	32,659	△144,258	286,931	
経常利益又は損失(△)	54,179	△128,043	305,887	
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は損失(△)	19,104	△85,480	191,457	
1株当たり四半期純利益 又は損失(△)	1.17円	△5.25円	11.76円	
総資産	27,862,016	27,701,735	29,022,340	
純資産	8,497,893	8,465,175	8,642,757	
1株当たり純資産	521.89円	518.59円	529.47円	

2024年3月期(連結)

(単位:千円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	12,233,977	13,110,151	13,981,724	13,498,144
営業利益	299,612	29,891	400,557	404,635
経常利益	321,402	58,286	427,765	450,827
親会社株主に帰属する 四半期純利益	267,366	52,921	312,828	380,837
1株当たり四半期純利益	16.43円	3.25円	19.21円	23.39円
総資産	24,212,349	25,539,339	27,880,114	28,848,387
純資産	7,910,752	8,035,953	8,358,245	8,750,858
1株当たり純資産	486.14円	493.52円	513.31円	537.43円

(2) 部門別売上高の状況

	2024年3月期 第3四半期 (自2023年4月1日) (至2023年12月31日)		2025年3月期 第3四半期 (自2024年4月1日) (至2024年12月31日)		比較増減 (千円)	比較増減 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)		
カット野菜部門	18,013,830	45.8	18,427,619	42.3	413,788	2.3
ホール野菜部門	15,201,136	38.7	17,430,532	40.1	2,229,395	14.7
その他部門	6,110,887	15.5	7,646,525	17.6	1,535,638	25.1
合計	39,325,854	100.0	43,504,677	100.0	4,178,823	10.6